国際ロータリー　第2570地区　新座ロータリークラブ会報　2025～2026年度

NIIZA　Rotary　weekly

第1895号

令和7年9月4日　発行

国際ロータリー会長　フランチェスコ・アレッツォ　～良いことのために手を取り合おう～

第2570地区ガバナー　坂口　孝　『クラブ強化と活性化のために行動してください』

会長方針　森　克巳　『楽しく奉仕！　未来に繋ぐ ロータリーの輪 』

UNITE FOR GOOD

会長　森　克巳　　副会長　鈴木　明子　　幹事　松岡　昌宏

第2281回例会　8月第4週　8月28日（木）

通常例会『イニシェーションスピーチ』田嶋　囲式会員

司　会　親睦活動委員　　山腰　拓実
点　鐘　会長　　森　克巳
ソング　「我らの生業」

会長の時間　会長　森　克巳

皆さん、こんにちは。本日も、例会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日の卓話は、６月から新たにご入会いただきました「田嶋もりのり」さんのイニシエーションスピーチがございます。私たちにとって、新たな仲間を迎えることは、クラブに新しい風を吹き込み、また一緒に学び合い成長する大きな機会となります。ロータリーの魅力は、年齢や職業、立場の異なる人々が「奉仕」という共通の志のもとに集い、友情を育みながら地域社会や世界に貢献できるところにあります。そして、新入会員の方にとっては、最初のスピーチは「ロータリーとの第一歩」を形にする大切な機会です。

田嶋さんが、これまでどのような経験を重ね、なぜロータリーに関心を持たれたのかを伺う事は、私たちにとっても学びであり、クラブの仲間としてお互いを深く理解する大切な時間になると思います。とても楽しみにしておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

私も、つい７年前2018年にイニシエーションスピーチをさせていただいたことを、つい昨日のことのように思い出します。

その時は緊張して、声が裏返ったり、何を話したか半分忘れてしまったり…

でも、皆さんが温かい拍手で包んでくださったおかげで「このクラブに入ってよかった！」と心から思えたのを覚えています。

月日が経つのは早いもので、もうあれから７年が経過してしまいました。

当時は、まさか７年後に会長を務めるなんて、想像もしていませんでした。

ですから田嶋さんも…数年後には会長をやっているかもしれませんよ！

そのときはぜひ、今日のスピーチのことをネタにしていただければと思います。

どうぞ皆さま、本日は温かい拍手と笑顔で、田嶋さんの船出を応援していただければ幸いです。

以上、短いですが、本日の「会長の時間」とさせていただきます。

幹事報告　幹事　松岡　昌宏

1、地区事務所より２件受信

1）青少年交換プログラム派遣学生『帰国報告会』（第２回オリエンテーション）の案内

日時：９月１３日（土）点鐘：13時30分

会場：国立女性教育会館　研修棟大会議室

2）標準ロータリークラブ定款　最新版受信

1、米山梅吉記念館より館報及び秋季例祭の案内と賛助会員募集のお知らせ

1、第２１回ロータリー全国囲碁大会の案内

日時：１１月８日（土）開会式：１０時

会場：東京市ヶ谷の日本棋院本院1階対局室

1、第１０回大江戸新座祭り開催の案内

日時：９月１４日（日）１１時～１８時半

場所：ふるさと新座館周辺

森　　克巳会員　本日は、田嶋囲式さんのイニシエーションスピーチです。楽しみにしております。よろしくお願い致します。

松岡　昌宏会員　田嶋さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしております。宜しくお願いします。

神谷　　稔会員　田嶋会員、入会おめでとうございます。

鈴木　明子会員　田嶋さん、イニシエーションスピーチ楽しみにしています。

田嶋　囲式会員　本日はよろしくお願いします。

宮川　勝平会員・並木　傑　会員･森田　輝雄会員

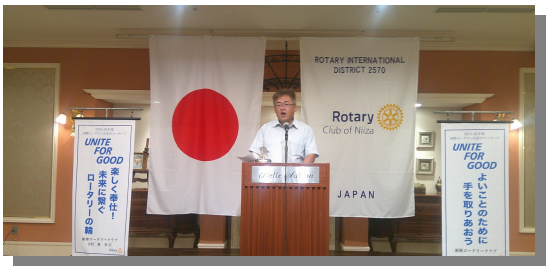
石原　勇介会員・髙橋　遼太会員･吉原　礼子会員

山越　拓実会員・土屋　俊弘会員

『田嶋囲式会員、イニシエーションスピーチ楽しみにしております』

委員会報告

親睦活動委員会　　**委員長　石原　勇介**



「会員親睦夜間例会」へのお誘い

お忙しい事と存じますが多数ご出席下さい。

日時：１０月１８日（土）　点鐘１８時３０分

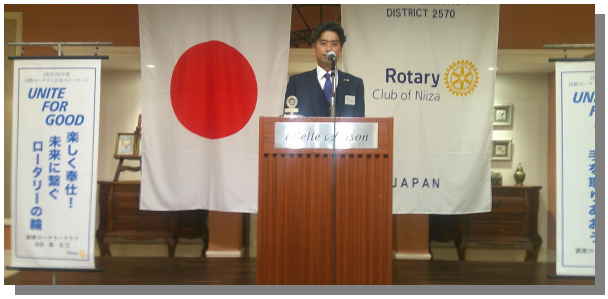
場所：「日月火」銀座店

スマイル報告

親睦活動委員会　　**委員　髙橋　遼太**

イニシエーションスピーチ

田嶋　囲式



皆さま、こんにちは。本日はこのような場を設けていただき、誠にありがとうございます。自己紹介のためにお時間をいただき、少し緊張しておりますが、せっかくの機会ですので、私のことをできるだけ知っていただけるようお話ししたいと思います。　自己紹介というと、どうしても仕事やどのようなことをやってきたかということを伝えがちになってしまうのですが、今日はそれにとどまらず、私自身がどんな環境で育ち、どのよう

な価値観を持ち、どんな経験を経て今に至っているのかを、できるだけ具体的にお伝えしたいと思います。そうすることで、少しでも皆さまに私のことを知っていただければ幸いでございます。

本日は大きく五つのテーマに分けてお話しさせて頂きます。まずは生い立ちや学生時代のこと、次に社会人になってからの仕事の歩み、そして人生の転機や学びについてお話しします。その後、趣味やプライベートの過ごし方を交えつつ、最後に今後のロータリークラブでの目標についてお話しさせて頂きたいと思います。普段の生活では、なかなかここまで自分のことを詳しく話す機会はありませんが、この自己紹介を通じて、私のことを知っていただくと同時に、皆さまとの距離が少しでも縮まり、今後の活動におけるつながりのきっかけになればと願っております。どうぞ最後までよろしくお願いいたします。

生い立ち・バックグラウンド

まず初めに、私の生い立ちや学生時代についてです。私は新座市で生まれ育ちました。家庭では父が建築板金の仕事を営んでおり、家に小さかったですが工場が併設されていたため、幼い頃からトンカチや鉄板を加工する音が日常の一部としてありました。職人さんたちの働く背中を見て育った事は、ものづくりへの関心や「働くこと」の実感を自然に芽生えさせてくれたように思います。そして、片山小学校、新座中学校を経て、高校は慶応志木に進学しました。小学校・中学校では生徒会の役員を務め、行事の準備をしたり、運営を仲間とともに担いました。当時は人前で話すのが苦手で、いつも緊張していましたのを覚えております。ただそこで「皆の意見を聞いて、形にする」という経験を通して、人と協力して一つのことを成し遂げる大変さを学ぶことができました。今思えば、その経験が人との関わり方の土台を作ってくれたのだと思います。高校ではバスケットボール部に所属しました。練習は非常にハードで、仲間と何度も辞めようという話をしましたが、共に練習を重ねて乗り越える中で「一人では続けられない事も、仲間がいるから乗り越えられる」という実感を得ました。試合で勝った喜びはもちろんですが、厳しい練習を乗り越えた 日々そのものが、忍耐力を育んでくれたと思います。また、その当時の友人とは今でも交流があり、年一回は集まっています。こうした関係性も、共にきつい練習を乗り越えたからこそ築けたものだと感じています。その後、大学進学と同時に、夜間に建築設計の専門学校へ通い、ダブルスクールをしていました。昼間は大学へ行き、夕方から夜にかけては専門学校で製図板に向かう生活は体力的にも大変でした。しかし、幼い頃から父の仕事を見て育ったこともあり「建築に関わる仕事を学びたい」という思いが強くあったと思います。友人たちと遊ぶ時間を夜遅くまで図面を描いた日々に変えたことは、将来を考える上で大きな経験となりました。 振り返ると、私の生い立ちや学生時代は、家業を通じて「働くことの意味」を感じ、生徒会活動を通じて「協調と責任」を学び、部活動を通じて「忍耐と仲 間の大切さ」、ダブルスクールを通じて「目標に向けて努力を続ける姿勢」を身につけられました。これらの経験は、今の仕事や人生の考え方の根本となっています。

仕事のこと

次に仕事についてです。大学と専門学校で学んだ後、鹿島建設というゼネコンに就職しました。幼い頃から父の建築板金業を身近に感じて育ったこともあり、漠然と「建築に関わる仕事をしたい」という思いがありました。大学では経済学部に所属していたため、入社後は事務職としてのスタートとなり、初めての勤務地は新潟でした。
最初は社会人となって右も左も分からず、先輩や上司に教えを受けながら現場に飛び込む毎日でした。働いて驚いたのは、飲み会の多さです。
週３～４回は飲み会があり、それ以外の日は飲み会でできなかった仕事の対応で深夜１２時を過ぎることもありました。この経験を通じて、共に働く方々とのコミュニケーションの大切さを学びました。６年間勤めた後、家業である田島板金に戻ることにしました。鹿島建設を辞めるかどうかは悩みましたが、決め手となったのは「会社で働いてくれている職人さんたち」の存在でした。

私が生まれたときから働いてくれていた職人さんがまだ現役で働いており「自分が戻らなければ、この方々はどうなるのか」と考えるようになったのです。また、職人さんたちのおかげで高校や大学に通うことができた事を考えると、自分

が何も返さずに済むわけにはいかないと思い、戻る決断をしました。

家業に戻ってからは、前職とはまったく異なる環境での仕事でした。同じ建設業でも、工事を管理するのではなく、職人さんたちを抱えて施工する側に立つ仕事は、大変でしたが鹿島建設では学ぶことが出来ない経験が多くありました。ただ、戻った頃は忙しすぎて、あまりの忙しさに、寝言でも仕事のことを話していたと妻に心配されたこともあります。会社に戻って１５年が経ちましたが、仕事を続ける中で改めて実感したのは「建築は人の生活を守る仕事である」ということです。屋根や外壁といった建築板金の分野は目立たないかもしれませんが、家を雨や風から守り、人々の暮らしを支える重要な役割があります。小さい頃はその価値を理解できませんでしたが、自分自身が現場に立つようになって初めて実感できました。もちろん、順調なことばかりではありません。経済情勢の変化や建設業界の厳しい現実に直面し「本当にこのままで良いのか」と悩むこともありました。それでも続けてこられたのは、やはり建築板金という仕事にやりがいを感じていたからだと思います。振り返ると、私の仕事の歩みは決して平坦ではなく、失敗と挑戦の連続でした。しかし、その積み重ねこそが今の私を作っているのだと感じています。

人生の転機や学び

これまでの人生を振り返ると、大きな転機のひとつは、３０歳のときに朝霞青年会議所に入会したことでした。最初はよくわからないまま勧誘を受け、軽い気持ちで参加しましたが、実際に入会してみると、自分が想像していた以上に真剣な学びと挑戦の場が広がっていました。青年会議所では、地域の課題に向き合い、解決に向けた事業をゼロから企画・運営します。例えば、地域の子どもたちを対象にした事業や、まちづくりに関する事業の企画など、普段の仕事では経験できない大きな取り組みに携わることができました。会議では多くの意見が飛び交い、深夜まで議論を重ねることもありました。そのような過程を経て、一つの方向にまとまり、地域に喜ばれる成果につながったときの達成感は、仕事では得られないものでした。また、青年会議所で特に鍛えられたのは「リーダーシップ」と「人前で話すこと」です。役職を任された際には仲間をまとめる難しさを痛感しました。

年齢や立場が異なるメンバーの意見をどう引き出し、一つの方向に導くか、その試行錯誤の中で、相手の話を傾聴する大切さや、自分の考えを分かりやすく伝える力が少しずつ身についていきました。特に、入会間もない時に百人以上の前でスピーチをした経験は、これまで感じたことのない緊張でしたが、繰り返すうちに人前で話す力を身につけることができました。さらに大きな学びは「自分の仕事だけでなく、社会全体にどう貢献できるか」を考える視点を持てたことです。仕事の現場ではお客様や取引先に貢献することが第一ですが、青年会議所の活動を通じて「地域の未来のために自分は何ができるのか」を意識するようになりました。これは職人さんたちの「誇りを持って仕事に取り組む姿」とも重なり、建築板金の仕事を単なる作業としてではなく、社会を支える誇りある役割として再認識するきっかけになりました。　青年会議所での活動は、私の視野を大きく広げてくれました。仕事だけでなく、人間としての成長や、地域社会とのつながりの中で生きることの意味を学ぶことができました。

この経験があったからこそ、森田先輩にお声かけ頂き、今こうしてロータリークラブにご縁を頂き、さらに広い視点で社会貢献を学ぶことができると実感しています。こうした転機や学びを通じて、私は「人は人によって磨かれる」ということを強く実感しました。今後も、新しい出会いや経験を通じて学び続け、社会に役立つ人間へと成長していきたいと思っています。

趣味・プライベート

次に私の趣味についてお話しさせて頂きます。現在、特にはまっているのはゴルフです。鹿島建設に入社した際、社命でゴルフを始めました。会社に戻ってからも、付き合いでコンペには参加していましたが、練習もろくにせずに ゴルフをしていたため、まったく上手くなりませんでした。そこで「これではいけない」と今年から一念発起し、レッスンに通い始めました。ゴルフは単なるスポーツとしてだけでなく、仲間とのコミュニケーションの場にもなっています。ラウンドを共

にすることで、普段話せないことも話せたり、相手の考え方や人柄を知るきっかけにもなります。仕事の話から趣味の話まで幅広く交流できるため、私にとってはリフレッシュの時間であると同時に、人間関係を深める大切な時間でもあります。また、今年に入ってからは健康や体力づくりのために筋トレも始めました。諸先輩方を見て、仕事や趣味を楽しむためには、体力が欠かせないと感じたことがきっかけです。初めは続けるのが大変でしたが、少しずつ筋力がついてくるのを実感すると、達成感も得られます。筋トレを通じて「継続することの大切さ」と「目標に向かって努力する喜び」を改めて感じました。　ゴルフも筋トレも、一人で楽しむこともできますが、仲間と一緒に取り組むことでより楽しく、学びの多い時間になります。こうした趣味を通じて得られる経験やコミュニケーションは、ロータリークラブでも活かせると考えています。ロータリークラブでは、さまざまな活動を通じて多くの方と交流する機会があるかと思います。ゴルフや筋トレで培った継続力や仲間との協力する姿勢は、クラブ活動においても人間関係を円滑にし、円満な活動につなげられると思っています。趣味や日常の経験を通じて学んだことを、メンバーの皆さまとの交流や奉仕活動に活かし、少しでも貢献していきたいと考えています。

今後の目標・ロータリーでやりたいこと・クロージング

最後に、ロータリークラブでどのような活動をしていきたいかについてお話しさせて頂きます。

ロータリークラブに入会し、改めて「人と社会のつながりの中で、自分が何をできるか」を考える機会をいただきました。これまでの人生で学んできたこと ――職人たちから学んだ仕事への誇り、青年会議所で培ったリーダーシップと 社会貢献の視点、そして仕事や趣味を通じて得た仲間との関わり――これらの 経験を、ロータリーの活動に活かしていきたいと思っています。　特に、地域社会に根差した奉仕活動には強い関心があります。建築板金の仕事を通じて「暮らしを支えること」の大切さを実感してきた私にとって、ロータリーの活動もまた、人々の生活や地域の発展に直接つながる活動であると感じます。

今後は、クラブの皆さまと協力しながら、地域の子どもたちや高齢者、さまざまな社会課題に取り組む事業に積極的に参加していきたいと考えています。また、青年会議所で学んだことのひとつは「自分の力だけでなく、仲間と協力していくことの重要性」です。

ロータリークラブには、多様な経験と知識を持つメンバーの方々がいらっしゃいます。その中で、自分の経験や知識を少しでも役立てながら、クラブ全体の活動に貢献できるよう努めていきたいと思います。そして同時に、他のメンバーの皆さまから学び、成長し続ける姿勢を忘れずにいたいと考えています。

さらに、個人的な目標としては、まずはロータリークラブのことを深く知ることです。クラブにはさまざまな活動があると思いますので、その活動の意味や意義を理解し、経験を積んでいきたいと思います。　最後になりますが、私自身まだまだ学ぶことが多くあります。しかし、これまでの仕事や青年会議所での経験を生かし、クラブの一員として誠実に、前向きに活動に取り組んでまいります。どうぞ今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

以上となります。長時間にわたりご清聴いただきありがとうございました。

会員増強月間因んで

公式訪問によせて　　**会長　森　克巳**

来る１０月１６日木曜日に、今年度のガバナー公式訪問が予定されています。

タイムスケージュールは例年通りとなりますが、当日の後半に行われます「クラブ協議会」のやり方が、例年とは異なりますのでご注意ください。

例年ですと、クラブで一つテーマを決めて、その

テーマについて話し合って、その結果をガバナーに報告するというものでした。
しかし、今回のクラブ協議会は、クラブの現状や計画、課題についてガバナーと議論し、ガバナーがアドバイスやフィードバックをするというものです。
具体的には、各委員会から委員長さんに登壇していただき、現状の課題と改善点、将来の計画等について発表していただきます。発表終了後に坂口ガバナーより総評をいただきます。
ガバナー公式訪問までは、あと一カ月半ほどありますが、各委員長さんにおかれましては、ご準備の程宜しくお願いいたします。

また、今年度の最優先課題が、会員増強です。

先日、第２グループの地区会員増強委員である和光ロータリークラブの鈴木さんからお電話を頂きました。

国際ロータリー２５７０地区の会員増強委員会の方針として、会員数３０名以下のクラブを重点的に、増強支援を行うそうです。ちなみに我が新座ロータリークラブは、現在２５名です。

会員増強活動の先進事例として、志木ロータリークラブの増強活動を紹介されました。

<志木ロータリークラブの会員増強活動>

①会員一人当たり１０名のターゲット（新会員候補者）をリストアップする。
②ツールとして、年度計画書のコピー、クラブの写真などを印刷し、持参して、候補者に対し自クラブについて説明する。
③年配のベテラン会員に、自社の後継者を紹介してもらい、アプローチする。
④新会員ごとにチューター（相談役）を付けて、定着（退会防止）を図る。
⑤比較的新しい会員を中心に、炉辺を行い、人間関係の構築（友達作り）を図る。

【これに倣って、我がクラブでも】

①新会員候補者のリストアップ
②リストに基づいたアクションプランをたてる。役割分担をする。
③これらと同時並行で、勧誘用のパンフレットを作成する。

このような取り組みを具体化していきたいと考えておりますので、ご協力いただければ幸いです。

9･10月のプログラム　委員長　増渕　和夫

4日(木)　通常例会「ミニ卓話」　･村上　俊之会員
　　土屋　俊弘会員･上田　昭憲会員
11日(木)　例会取消
18日(木)　通常例会　「会員卓話」
　　山越　拓実会員
25日(木)　例会取消
10/2(木)　通常例会「大畑　茂ガバナー補佐訪問」
　　食事:12時　点鐘:12時30分
10/9(木)　例会取消

クラブからの連絡

★坂口孝ガバナー公式訪問
日時:10月16日(木)　点鐘:12時30分
集合:11時　五年未満の会員義務出席
懇談会:11時15分
食事:12時　(全会員努力義務出席)
例会:12時30分
クラブ協議会:13時40分

☆例会出席は　会員の義務です
欠席の場合はMake　upをしましょう

http://www.niiza-rc.jp

国際ロータリー第２５７０地区　新座ロータリークラブ

新座ロータリークラブ事務局
〒352-0001　新座市東北2-25-11-406
電 話　048 (473)7041
FAX　048 (473)9221
Eメール　niiza.rc@dance.ocn.ne.jp